

船橋市教育委員会会議 10月定例会会議録

1. 日 時 平成19年10月31日(水)
開 会 午後4時00分
閉 会 午後4時50分
2. 場 所 教育委員室
3. 出席委員 委 員 長 中 原 美 恵
委員長職務代理者 篠 田 好 造
委 員 村 瀬 光 一
委 員 山 本 雅 章
教 育 長 石 毛 成 昌
4. 出席職員 教育次長 村 瀬 光 生
管理部長 松 本 清
学校教育部長 松 本 文 化
生涯学習部長 中 台 雅 幸
管理部参事兼総務課長 宇 都 和 人
学校教育部参事兼学務課長 阿 部 裕
学校教育部参事兼指導課長 石 井 和 明
生涯学習部参事兼文化課長 山 田 清
生涯学習部参事兼中央公民館長 須 藤 元 夫
保健体育課長 清 水 龍 夫
青少年課長 大 野 栄 一
生涯スポーツ課長 石 井 誠
財務課主幹兼課長補佐 武 藤 三 恵 子
施設課主幹兼課長補佐 平 野 泰 生
社会教育課課長補佐 佐 藤 辰 之
5. 議 題
- 第1 前回会議録の承認
- 第2 臨時代理
報告第10号 県費負担教職員の任免に関する内申について
報告第11号 職員の任免について
- 第3 議決事項
議案第41号 船橋市立西海神小学校用地の引継ぎについて
- 第4 報告事項
(1) 平成20年成人式について
(2) 平成19年度就学時健診等における子育て学習について
(3) 第45回市展について

- (4) オリンピアンふれあい交流事業・スポーツの祭典の報告について
- (5) 大穴北まちかどスポーツ広場について
- (6) 2007 船橋市民マラソン大会について
- (7) 学校職員の指導措置について

6. 議事の内容

【委員長】

ただいまから教育委員会会議 10 月定例会を開会いたします。

初めに、10 月 15 日付をもって教育委員に就任されました山本委員にごあいさつをお願いしたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

【山本委員】

こんにちは。10 月 15 日に教育委員に就任いたしました山本でございます。

私は西船橋で皮膚科の医院を開業しております。私の前任の高木先生から教育委員への推薦をいただき、この度就任することとなりました。私は自分でも非常に平均的な日本人の考え方をするのではないかと考えております。最近は、「奥ゆかしさ」とか「分をわかまえる」という日本人のよさが失われてきて、とにかく声が大きい者が勝ちという嫌な風潮があるような気がいたしますので、いわゆるサイレントマジョリティーの代弁者というわけではないですが、そういうような観点に立っているんなことを考えていきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひします。(拍手)

【委員長】

それでは、会議録の承認についてお諮りいたします。

9 月 28 日に開催いたしました教育委員会会議 9 月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございます。よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

先ほど事務局から「県費負担教職員の任免に関する内申について」及び「職員の任免について」の臨時代理の報告がありましたので、本日の議事日程において、当該報告の報告

第10号及び報告第11号として追加したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

本報告を報告第10号及び報告第11号として議事に追加するものといたします。

それでは議事に入りますが、報告第10号、報告第11号及び報告事項(7)は、船橋市教育委員会会議規則第14号第1項第1号の「任免、賞罰等職員の身分取扱いその他の人事に関する事項」に該当しますので、非公開としたいと思います。

また、本日の議事日程につきまして、報告第10号、報告第11号及び報告事項(7)は関係職員以外は退席願いますことから、同会議規則第9条の規定により議事日程の順序を変更することとし、報告第10号及び報告第11号を報告事項(7)の後に繰り下げたいと思います。ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

当該報告を非公開とし、報告第10号及び報告第11号を報告事項(7)の後に繰り下げることといたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、議案第41号について、施設課、説明願います。

【施設課主幹兼課長補佐】

議案第41号「船橋市立西海神小学校用地の引継ぎについて」ご説明をいたします。

会議資料の1ページをご覧ください。

平成19年8月の教育委員会会議定例会においてご審議いただきました船橋市立西海神小学校用地の取得に係る一般会計補正予算は、平成19年9月の第3回定例市議会において可決をいたしております。これを受けまして、借地しておりました土地、海神5丁目673番地ほか5筆、面積でいいますと2,907.27平米について、平成19年10月1日付で売買契約、所有権移転及び土地の引き渡しを完了しております。これに伴い、この土地を市長から教育財産として引き継ぐものでございます。

説明は以上でございます。

【委員長】

ただいま説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

よろしいですか。それでは、議案第41号「船橋市立西海神小学校用地の引継ぎについて」を採決いたします。ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

議案第41号については、原案どおり可決いたしました。

それでは、報告事項に入ります。

初めに、報告事項(1)及び報告事項(2)について、続けて社会教育課、報告願います。

【社会教育課課長補佐】

報告事項(1)「平成20年成人式について」報告いたします。

資料3ページをご覧ください。平成20年成人式につきましては、平成20年1月14日の月曜日祝日、場所は前回と同じ市民文化ホール、午前と午後の2部構成で実施いたします。

テーマは、昨年度の成人を中心とする若者たち新成人に呼びかけ、「平成とともに迎える20年～新たな未来へ～」に決まりました。

成人式と同時に「よりみち広場」が、中央公民館6階講堂で開催されます。先輩・後輩から新成人を祝うというコンセプトから、コーヒーコーナーは成人のOBが担当し、お茶席コーナーにつきましては、従来、茶道連盟にお願いしておりましたが、前回の成人式から市内の高等学校の茶道部に声をかけ、今年1月の成人式には市立船橋高等学校茶道部の方が、お茶席コーナーを担当いたしました。来年1月のお茶席コーナーにつきましては、市内の高等学校に声をかけ、2校立候補がありましたけれども、部員の数から、県立薬園台高校茶道部が担当いたします。

現在は、デジタルカメラや携帯カメラが普及しているところですが、記念品としまして、使い切りカメラを式典参加者全員に贈呈しております。このカメラが配られることで記念に写真が残ることもあり、会場のさまざまところで撮影する姿が見られました。

今年の成人式でも「二十歳のアピール」が好評でした。皆さんご存じのとおり、ビッグバンドがかなり好評でしたが、来年の成人式には、今年出演したビッグバンドの後輩に当たる成人が出演予定となっております。このほか、ダンスや歌の方で現在多数の出演応募が来ております。

運営につきましても、運営ボランティアの輪が広がり、OBによる成人友の会のメンバーが中心となり、舞台裏を初め、会場の随所で成人式を応援しています。

以上が成人式についての報告でございます。

続きまして、報告事項(2)「平成19年度就学時健診等における子育て学習について」を報告いたします。資料の5ページをご覧ください。

子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育力を高めるために子育て講座を実施しております。平成18年度も就学時健診等を活用し、小学校54校で、翌年新1年生となる幼児を持つすべての保護者を対象に子育て講座を実施いたしました。今年についても、来月1日の小栗原小学校を最初に、11月中に、ほとんどの学校で公民館や学校などを利用して、子育て学習が実施される予定でございます。

例年、講師に元小学校長や家庭教育相談員等をお招きしており、子供の目線に立った具体的なお話に耳を傾ける来聴者の姿が多く見られます。

以上が就学時健診等における子育て学習についての報告でございます。

よろしく願いいたします。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

【委員】

成人式については1年ごとに工夫がなされて、進化しているように思いますが、もう1件の報告事項(2)の子育て学習については、まだ成人式ほど進化の仕組みがうまくできていないのかなという印象があります。そのあたりについてはいかがでしょうか。

【社会教育課課長補佐】

この事業につきましては、平成13年度から平成15年度に国の補助事業として実施しましたが、それ以後、市の事業として4回実施しているところです。各学校かなり努力しており、また各講師が工夫を凝らしてお話ししておりますので、成果が出ているのではないかと考えております。

【委員】

内容をきちんと把握していただくために、アンケートを実施するとか、そういうデータをもとに方向性を考えていければいいのではないかと思うのと、講師のリストを見ますと、

それぞれが随分バラエティーに富んでいるような印象がありますので、ご努力が伝わってきますけれども、学校と最初に出会うところなので、出会いのところをどう工夫していくかというところは、もう一步踏み込んで考えていただきたいと思います。

【社会教育課課長補佐】

前回は講師について、そうした質問があったのですが、今回は54校のうち34校が前回の講師と違った講師を選んでおりますので、そういう意味では前回と同じ話を聞くということはないと思っております。

【委員】

この講師は学校が選任するんですか。公民館が選ぶのでしょうか。

【社会教育課課長補佐】

公民館及び学校が相談して決定しております。

【委員】

両方で話し合いながら講師を選ぶということですね。

【社会教育課課長補佐】

はい、そうです。

【委員】

結局、就学する子供たちはどこの学校へ通っていても、船橋の学校へ行くわけですがけれども、話をする時に、是非この話だけは必ずしていただくようお願いしているのか、それとも各学校とか公民館の人たちに完全に任せて学習の実施というものをお話しなさっているのか、そういうマニュアル的なものは幾つかあるわけですか。

【社会教育課課長補佐】

公民館及び学校へマニュアル等は渡しておりません。

【委員】

それに対して、今までやってきて問題はなかったという解釈でよろしいわけですね。

【社会教育課課長補佐】

はい、これまで特に問題はございませんでした。

【委員長】

他にご意見、ご質問はございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（３）について、文化課、報告願います。

【文化課長】

報告事項（３）、資料７ページでございます。秋の恒例事業にもなりました第４５回船橋市美術展覧会につきましてご説明いたします。

お手元の開催要項にもありますように、会期は１１月７日より２２日まで１３日間にわたり、船橋市民ギャラリーを会場に前期と後期に分けて開催いたします。運営は船橋市教育委員会と船橋市美術連盟の共催でございます。

なお、展示区分につきましては、日本画、洋画、彫塑、工芸、書道、５部門で開催いたします。芸術鑑賞の秋でございますので、是非ご覧いただきますようご案内いたします。

以上でございます。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

市民の方にとってはとても貴重な発表の機会でもありますので、非常に大切に取組みを進めていただきたいと思います。

では、続きまして報告事項（４）、報告事項（５）及び報告事項（６）について、続けて生涯スポーツ課、報告願います。

【生涯スポーツ課長】

それでは、報告事項（４）、報告事項（５）及び報告事項（６）につきましてご説明を申し上げます。

私どもからの報告は、スポーツの秋ということで、すべてスポーツでございます。

１０月６日、オリンピックふれあい交流事業ということで、バスケットボールのクリニ

ックを実施いたしました。資料の9ページ、10ページをご覧ください。オリンピック3選手に市内中学生120人をご指導をいただきました。その3選手のサインがございますので、後ほどご覧いただければと思います。大変素晴らしいトップレベルの指導を受けたということで、生徒さんたちは非常に生き生きとしておりました。

次に11ページをご覧ください。船橋市制70周年記念イベント、スポーツの祭典でございます。オリンピックの翌日の10月7日曜日に、晴天の中、運動公園で盛大にスポーツの祭典が行われました。当イベントは「船橋市体育指導委員連絡協議会」、「船橋市スポーツと健康を推進する会」、「いきいき同窓会」の3団体が協力し合って初めて開催された市民主体のスポーツイベントでございます。本市は市民との協働によるまちづくりを推進してまいりますので、たいへん有意義なイベントであったと思っております。来年度以降も、この大会が拡大・継続していければよいと考えております。

様子につきましては、資料12ページに写真を添付しておりますので、ご覧ください。

次に、報告事項(5)について報告いたします。資料は13ページをご覧ください。大穴北まちかどスポーツ広場は平成7年から、地域のスポーツの場として活用させていただきました。約2,000平米の土地でございますけれども、このたび地権者のご都合により、本年11月までで返還しなければならないということになりました。現在このようなまちかどスポーツ広場が19箇所ございますけれども、大穴北まちかどスポーツ広場が廃止になりまして、18箇所になってしまいます。これはスポーツを推進する私どもとしては非常に痛手ですが、またこのように無償で貸していただける土地がありましたら、是非整備をして、この事業を拡大をしていきたいと考えております。

次に、報告事項(6)「2007船橋市民マラソン大会について」報告いたします。資料は15ページでございます。開催要項はお手元に配付させていただきましたけれども、この大会は、元旦に行っておりました「元旦マラソン」と、11月に行なっておりました「汗一平ロードレース」を平成9年度から統合させて行っている市民マラソンで、今回で11回目を迎えます。今年度は2歳のお子さんから69歳の方まで771人の申し込みをいただいております。昨年の申し込みが486人でしたので、非常に拡大したと思っております。事故のないように気をつけてまいりたいと思います。

なお、後援の毎日新聞さんには記事の掲載及びメダルの提供、協賛の東武百貨店さんにはゼッケンの提供、船橋ポートライオンズクラブさんにはお汁粉のサービスをご協力いただいております。委員の皆様にもぜひご来場いただいて、選手に声をかけていただければ非常にありがたいと思います。

生涯スポーツ課からは以上でございます。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

スポーツだけではなくて、芸術にもいえることですが、本物を見せるというか、一流のものを見せるというのは、子供たちにとって非常に有意義なことではあると思いますので、バスケットボールに限らず、またスポーツに限らず、機会がありましたらできるだけ本物と触れ合う、本物と交流する機会を増やしてあげていただきたいと思います。

【委員】

今後、バスケットボールの他にも、プロスポーツ選手と出会うイベントの予定は何かありますか。

【生涯スポーツ課長】

特にプロの選手を誘致する行事予定はございません。ただ今回初めて日本オリンピック協会と私どもが接点を持たせていただき、このような事業を今後行うということなので、財団法人船橋市文化・スポーツ公社の方に当該事業をご紹介いたしました。あそこは財団法人ということで、いろいろとフレキシブルな対応ができると考えております。

以上です。

【委員長】

貴重な機会がたくさん増えていくよう、こうした事業が次につながっていくといいですね。

他に何かご意見やご質問はございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（ 7 ）、報告第 1 0 号及び報告第 1 1 号の報告に入りますので、関係職員以外の方は退席願います。

（関係職員以外退席）

【委員長】

それでは、報告事項（ 7 ）について、学務課、報告願います。

報告事項（ 7 ）「学校職員の指導措置について」、学務課長から報告された。

【委員長】

続きまして、報告第10号について、学務課、報告願います。

報告第10号「県費負担教職員の任免に関する内申について」、学務課長から報告された。

【委員長】

では、続きまして報告第11号に入りますので、学校教育部長、学務課長は退席願います。

(学校教育部長及び学務課長退席)

【委員長】

それでは、報告第11号について、総務課、報告願います。

報告第11号「職員の任免について」、総務課長から報告された。

【委員長】

職員を入場させてください。

(職員入場)

【委員長】

本日予定していました議案等の審議は終了いたしました。ほかに何かございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

では、皆様のお手元に配付資料が渡っておりますでしょうか。10月9日から10日にかけて教育委員の京都市行政視察がございましたので、その報告をしたいと思います。お手元の資料に内容をつづってございますので、お読みいただければと思います。京都

市は今、学校統合の問題に積極的に取り組んでおります。もともと歴史的にはそれぞれ地域の方が自分たちの地域に学校をつくるということで、小さい単位で、学校をたくさんつくって、教育にはとても力を入れてきた地域です。そのため、子供の数が減ってきたところでは統廃合の問題をどのように進めていくかということが大きな行政課題となっております。ここに幾つかパンフレットを持ってきましたけれども、とにかく市民の方1人1人が教育について本気で考えて、自分の母校を大切に残しておくべきなのか、それとも次代の子供のために新しい学校をつくり上げていくべきなのか、そういうことをとことん市民の方たちに議論をしていただきながら行政を進めていく姿勢というのが、知恵と工夫にあふれていて、すばらしいと思いました。

私たち船橋市も地域総がかりで教育にあたっていくという思いは同じですが、啓発活動とか、PR活動を展開していく必要があると思います。就学時健診のところでも学校教育というのは、こういう意味を持っていて、こういうふうに取り組んでいますというような情報を積極的に保護者の方たちに伝えていくことが、恐らく大きな力になっていくのではないかと感じてまいりました。

小中一貫教育というのも、それだけ単独で進めているのではなくて、概要の「京都市における小中一貫教育の取り組み」の中段にあります。小中一貫教育の形として、6つ挙げてございます。それは今お話ししたように、もう地域が官からの要請では絶対に動かないという強い信念を持っているところでは、このAの「コミュニティスクール型」といって、地域から要請が出て、地域がどんな学校にしていきたいかということのを丁寧に考えるタイプの小中一貫校を開設していくプロセスをとりました。当然、教育困難校もございまして、教育困難な状況にある地域は、Bの学習課題克服の「教育課程型」ということで、イニシアチブをとって進めていくとか、行政がどういう形でこの地域にこの課題を下ろしていけば、地域の人たちが一緒にかかわりながら、子供のために動いてくれるのかということを考えて枠組みがしっかりつくられているところがあります。

もう1つは、施設もそうですが、とにかく先に手を挙げてモデルになろうという決意をしたところには、相当な予算をつぎ込んで、これだけいいことがありますよということをやるとやる。それ自体が広告塔となっているのです。それもみごとな仕組みであると思いました。並みの校舎じゃないものを建てて、こうやって積極的に地域が考えて進めていけば、これだけのことを市がしますよという姿勢を校舎がシンボルとして持つわけです。なので、あの学校に入れるのなら、あの地域に住もうかというふうに、今、空洞化した都市部、中核部に住民が戻ってきているとのこと。このように、行政の方たちが知恵と工夫をもって、限りある予算の中で積極的に取り組んでいる姿勢を見習いたいと思って帰ってきました。

それから、資料の一番下の「産学公の連携による」というところですが、これはアイデアや資金・人材の提供などの面で、産業界の方たちに教育に積極的に介入していただいて、統合された後の学校を利用しながら、キャリア教育推進の施設をつくっていくということ

で、この辺も教育行政だけでやろうと思うと、とても実現しないようなことですが、船橋市も産業界の実力というのはすごく大きなものがあるので、進んでやるようになればよいというのを感じました。

そして、もう1つのポイントが教師塾です。資料真ん中のあたりに「京都教師塾の取り組み」とございますが、一般の市民の方や学生を500～600人集めて講座を開いています。1年目に600人近く入ったというのは、最初の年ということで、ありうることだと思いますが、今回は2年目の募集でしたが同じくらいの人数が集まっていました。このように毎年500～600人もの方々が教師塾で受講して学校に入ったり、教育に関心を持ってくださると、市民の力としてもう1つ大きなものになると思います。そのあたりも戦略的・長期的な方向性を持って、1つずつはかたい事業でも、それを5年10年積み重ねていったら、教育を支える力なるという発想が大きいし、私たちも見習いたいことであると思いました。1泊2日でしたが、すごく勉強になり、皆さんに伝えたい気持ちいっぱい帰ってまいりました。これからの教育行政に何らかのヒントになるようなところがあればよいと思います。

ほかの委員の方でつけ足していただくことなどありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

京都市には、非常に学校が地域の人と連携をとり、地域でもって子供たちを教育するというような考え方があるなと思いました。私が出た小学校も昔はそうであったと思いますけれども、今の船橋の小学校を見ると、そういう地域と小学校の密着度合いが少しずつできてきているような気がしますので、地域と小学校のかかわり合いの仕方をもっと少し密にすれば、子供の安全にもつながるでしょうし、キャリア教育にもつながるのかなと思います。

【委員】

お伺いして感じましたが、ここ10年間に猛スピードで統合が進んでいるわけですね。そのような中で統廃合される前の学校を、子供たちの芸術活動の部屋として空き地利用を的確にやられているというのは、とても古い学校ばかりなんですね。それも各小学校を全部町会の人で建てたということです。たとえば3丁目町会に学校があって、4丁目町会に学校があるような感じでございますので、本当に放っておくと多分教育になっていかないだろうと思います。1つの学校で10人しかいないような学校も出てきているのではないかと思います。非常に危機感を持って地域を説得してやっているところがすばらしいなと思いました。

船橋市も高根台第一小学校が統合された件については、やはり地域住民との折衝の仕方などが本当にすぐれてよかったのだと思いますし、今後役に立つのではないかと感じました。

あとは、教師塾に関しましては、やはり船橋と京都ではちょっと器が違い過ぎる部分があり、京都市は人事業務を全て独自にやっていますので、その部分では非常に教師塾も取り組みやすかったのではないかという気もします。ただ、この子供たちが年に何回か学校実施研修を10日間やっているということは、とても有意義なことだと感じていました。非常に勉強になりました。

以上です。

【委員長】

良いところはどんどん取り込みながら、私たちも進化していきたいなと思います。他に何かご意見などございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、これで教育委員会会議10月定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。